

毎年恒例のエコけん研修は、勉強会バスツアーです。今年は、12月9日(月)佐賀の「王子マテリア」「鳥栖環境開発総合センター」に行きました。

王子マテリア

原料の殆どが古紙(99%)で、ライナー・中芯原紙等の段ボール原紙、特殊板紙など、広範な板紙を製造する資源循環型工場。

《4つの古紙再生工程》

1. 古紙をほぐして繊維に戻す(離解)
2. 異物ゴミを取り除く(除塵)
3. インキを除去する(脱墨)
4. 漂白(H₂O₂漂白)



▲ホームページより

工場は、福岡ドーム3個分の広大な敷地でした。工程のほとんどが機械化され、効率的な古紙再生工場が自慢だそうです。できあがったロール紙は乗用車ほどの大きさで圧巻でした。また、古紙再生で、一番困るのは、強いにおいのついた紙とのこと。再生してもにおいが消えないそうです。最近では、洗剤メーカーの段ボールにわざと香りをつけてあるものもあり、困っておられるとのことでした。

鳥栖環境開発総合センター



▲水素ステーション

木質チップからの水素製造は、まだまだ実験の域を超えていないようです。佐賀県で唯一の水素ステーションですが、まだまだ課題も多いと感じました。

【参考資料】<http://www.ojimateria.co.jp/> <http://www.tosukan.co.jp/>

《ひら》

未来を創るインタビュー

No.33 九州経済産業局 資源エネルギー環境部資源エネルギー環境課
エネルギー環境広報室 エネルギー環境広報係長 中川 由佳 氏

10月に実施されたエコテクノ2013(北九州)で省エネルギー学習会を主催された九州経済産業局の中川さんにお話を伺いました。九州経済産業局というとちょっと縁遠い響きがありますが、九州経済の発展、中小企業の支援だけでなく、地域コミュニティを軸にしたまちづくり、訪問販売や電話勧誘販売などから私たち消費者を守る消費者保護対策など、私たちの暮らしと関わりが深く、身近な存在でもあるそうです。中川さんご自身もこれまでの業務の中で、地域の方々、中小企業の方々とのつながりを通じて育てて頂いた、とおっしゃったことに感銘しました。現在、中川さんが所属しておられるエネルギー環境広報室では、エナコロジーマンスや節電キャンペーン実施などエネルギー・環境の広報をされているそうです。私たちも以前、古賀清掃工場のエコロまつりをエナコロジーマンスの広報で紹介いただいたことがあります。

Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか

A. 当たり前だと思っている自分を取り巻く社会の仕組みや環境について、きちんと自ら学んで知ること

Q. ご自身の暮らしの中で心がけておられること

A. 何事も能動的に取り組む
情報は自ら収集して取捨選択して構築する



未来を創るメッセージ

次の世代へ胸を張ってバトンタッチできる未来を

中川さんご自身は、人あたりが柔らかく、爽やかな笑顔からは想像できないくらい芯のある女性だとお見受けしました。これから産休に入られるそうですが、復帰後、母親となられて更に活躍されることを同じ女性として心から応援し期待しています。

《Ms. W》

雨天中止

次回のぼらんず ※ぼらんずとは、毎月の清掃ボランティア活動です。

2月22日(金) 9:00~ 松原清掃(詳細未定)

エコロ田の1年

私たちの主食であるお米の事を、もっと知りたい！じゃあ作っちゃえ！と、エコロの森の一角に小さな小さな田んぼを作り、エコロ田と命名しました。田んぼ作りから始まり美味しくいただくまでに、知らなかった体験、発見がいっぱいでした。へっぴりごしでも、楽しく頑張った私たちのエコロ田の記録です。

5月下旬 ●土づくり・田んぼづくり

畑だった場所を掘ってブルーシートを敷き、小石を取り除いた土を戻してエコロ田の出来上がり。何度か水張りをした後に、元肥を入れました。



6月上旬 ●代掻き・田植え

中の土を均一にならしてデコボコをならし、いよいよ田植えです。3苗を1株に、初田植え体験者も多く、楽しい！

(注：どろんこ遊びではありません。)



7月上旬 ●追肥・成長

追肥しました。分枝も順調に進み、すくすく育っています。土色だったエコロ田も日に日に緑色に変わります。



8月中旬 ●開花・受粉

お米の開花は1粒1回のみ、たった30分間で終わります。受粉に成功すれば実になります。この時期に台風がくると、実になりにくくなるそうです。



8月中~下旬 ●ネット張り

実がなると、大敵は「すずめ」です。そこで、すずめ除けネットを張りました。三度笠がのら仕事には一番涼しいらしい...とお揃いの三度笠姿で作業しました。確かに涼しいが目立つ！



9月下旬 ●稲刈り

稲穂が重く垂れて、黄金色になった頃、とうとう稲刈りです。茎が茶色く色づいた稲は、しっかりお米に栄養が行き届いた証拠だそうです。

手で刈り取った後は、1月ほどかけ干しします。ある程度屋外で乾いたら、室内で干しました。



11月 ●脱穀・籾すり

湯飲み茶碗や牛乳パックを使って最初は手で脱穀に挑戦しました。でも大変！最後は機械のお世話になりました。籾すり機も一緒にお借りして(籾すりは数秒でした。機械ってすごーい)玄米の出来上がりです。全部で1kgとちょっとの収穫でした。



12月 ●精米・炊飯器で試食

精米したてを土鍋で炊いて、エコロ田の恵みをいただきました。本当に美味しかったです。



12月19日 ●モダンしめ縄作り教室開催

藁を使ってお正月のしめ縄作り教室を開催しました。参加者は藁を使って思い思いにしめ縄を作り上げ、年末年始、各家庭に飾られます。



3月3日 ○鍋炊飯教室 <<参加者募集中>>

美味しいお米をより美味しく食べましょう。鍋で炊くと美味しいだけでなく、時短、省エネになります。ぜひご参加ください。



『石焼き窯で焼いたハンバーグをおかずに鍋炊飯教室』

【時間】11:00~12:30【参加費】700円【場所】フルムーンカフェ【予約】エコけん

今年は猛暑や害虫のウンカが大量に発生するなど、福岡のお米の出来はあまりよくなかったようです。ただ、エコロ田は幸運にも、大きな被害に遭わず、順調に生育しました。すったもんだしながら出来上がったお米は美味しく、日本人で良かったなあと実感しました。

<<Yっち>>



ほっとカフェ ~一年の計は元旦にあり~

年の初めに決めておくのがよいというのが、なかなかたてられない。些細なことにも「感心・感動・感謝」できるよう意識しようと決意！



<<Kまま>>